

2016年 10/8 白星会 秋の講演会 ご来場の皆様へのお知らせ

本日は白星会 秋の講演会にご来場いただき有難うございます。
お話の入口はシャンプー容器です。 そのあとはどこに話が広がるか、乞うご期待。

1. 講演日時・場所

★10月8日(土) 15:00開始

★場所 レクチャーシアター 西5号館3階W531号室

2. 講演内容

演題：共用品＝日本が生んだバリアフリー －シャンプーのギザギザから、モノと社会の未来が見える－

講師はS53機械卒の後藤芳一氏です。(S55院卒→経産省)
講演内容は、後藤さんが経産省時代にかかわった福祉機器ビジネスに関連したお話です。

普段気づかないところに、さりげなくついている小さなサイン。

・シャンプー容器の側面のギザギザ ・缶ビールの蓋についているお酒を示す点字サイン
・牛乳パックの上についている半円の切り欠き ・ラップの箱の端面についているWの浮き出し文字
身の回りのサインが、暮らしを支える役割を担っています。

日本で生まれた「共用品」は市場規模、国際標準化で世界一です。

後藤さんはこの取組みを経済産業省の政策として進めました。

開発者が不便さに気づき／利用者とともに取り組み／玩具・化粧品・家電の人たちが協力し／
共通のルールをつくった(標準化)／成熟した製品にイノベーションが起きた／市場はいま3兆円…
共用品には、これからのモノ作りのヒントがあります。

さらに踏み込むと…現場の気づきが起点／ボトムアップで試行錯誤／市場と調和した社会課題の解決／
やり方を標準化して世界をリード／日本発の「思想」をつくった

共用品から、日本の強みを活かした未来と社会への寄与の方法が見えます。

2. 講師の紹介

東大教授 (その前は経産省審議官)

共用品の伝道師

福祉機器ビジネスを育てた男



でも東大教授らしくない人です。 ドラえものの
よう

にポッケからいろんなものが出てきます。

・講師 後藤 芳一 氏

東大教授・日本福祉大学客員教授 パラマウントベッド取締役ほか

S53機械卒S55東工大院修了→ 通産省入省→ 大臣官房審議官→ 現職

経産省在職中に「医療・福祉機器産業室」を創設し新ビジネスを育成

「共用品という思想」(岩波書店、共著)、「離陸する福祉機器ビジネス」(日本経済新聞社)

3. 講演終了後の懇親会について

今日の講師と色々なお話ができます。だれでもご遠慮なくご参加ください。

- ・懇親会 講演会終了後 生協第一食堂1階にて開催
機械系学生（白星会学生会員）は無料です。
一般会員・その他の方は有料(一般3000円、非会員の学生1000円)です。

☆☆☆ 共用品とは ☆☆☆ 「誰にでも便利」を目指して

- ・お風呂で髪を洗うとき
湯をかぶる→目をつぶる→シャンプーを手探る
→リンスをつかむ→あれれ？泡が立たない！

こんな時シャンプー容器側面の凹凸が役に立ちます。もちろん目の不自由な方にも。



シャンプー容器側面の凹凸

- ・牛乳パックの上半円の切り欠き
スーパーに行くといろんな牛乳が売られていますね。
低脂肪乳・無脂肪乳・加工乳・成分調整乳etc.
でもこれってホントの牛乳じゃないって知っています？
本物は成分無調整牛乳だけ。
でも本物は一目でわかるんです。
この半円の切り欠きが目印。手で触れば、目の不自由な方にも判別ができるデザインです。



牛乳パックの切り欠き

- ・そのほかたくさんあります。
共用品推進機構のホームページにいろんな例があります。
「えっ！こんなとこに」というのがありますよ。

http://www.kyoyohin.org/ja/kyoyohin/easy_package.php#

スマホはこちら→



- ・最新作はボディソープの容器です。
どこで判別するか？ お店に行ってみましょう。

☆お願い

本講演会のアンケート(無記名)

よろしければ、別にお配りしたアンケートにお答えください。

来年の企画の参考にさせていただきます。